

2022年度 日本工学院専門学校											
デザイン科 プロダクトデザイン専攻											
総合実習 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	松浦 泰明			実務経験	有	職種	プロダクトデザイナー				
担当教員紹介											
2013年 金沢美術工芸大学 製品デザイン専攻卒業。 2013-2021年、キヤノン株式会社にてレンズ交換式カメラのプロダクトデザインに従事。グッドデザイン賞、iFデザイン賞、IDEA賞、アジアデザイン賞、JIDA DESIGN MUSEUM SELECTION GOLD、コクヨデザインアワード2021優秀賞 等受賞。											
授業概要											
与えられたテーマを紐解き、立体物のデザインを題材とした実習の科目である。この授業ではアイデアの創出量を重視する。最終プレゼンテーションでは、プレゼンテーションボードを作製してデザイン提案を行う。											
到達目標											
実習課題を通じてアイデア創出力を養い、素早く可視化できるようになることを目標とする。業界で求められるデザインスキルと体力を向上させる。											
授業方法											
講師のデモンストレーションから学びを深め、学生自身が段階的にデザインのプロセスを体験する。グループワークやモデル制作など、手や身体を動かしながらデザインに取り組む実習型の授業を行う。											
成績評価方法											
プレゼン：30% 制作物の発表方法、内容について評価する 課題完成度：30% 提出課題完成度を総合的に評価する プロセス：30% 制作過程を評価する 平常点：10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する											
履修上の注意											
授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。授業時数の4分の3以上出席しない者はこの科目合格することができない。											
教科書教材											
必要な資料は授業にて配布を行う											
回数	授業計画										
第1回	オリエンテーション										
第2回	オブザベーション										
第3回	アイデアディブロップメント										
第4回	アイデア発表										
第5回	プロトタイピング										

2022年度 日本工学院専門学校	
デザイン科 プロダクトデザイン専攻	
総合実習 3	
第6回	プロトタイピング・中間チェック
第7回	プロトタイピング・アイデアリファイン
第8回	モデル制作・基本造形
第9回	モデル制作・詳細造形
第10回	モデル制作・CMF・仕上げ
第11回	モデル制作・完成確認
第12回	写真撮影
第13回	仕上げ
第14回	最終プレゼンテーション
第15回	総評まとめ